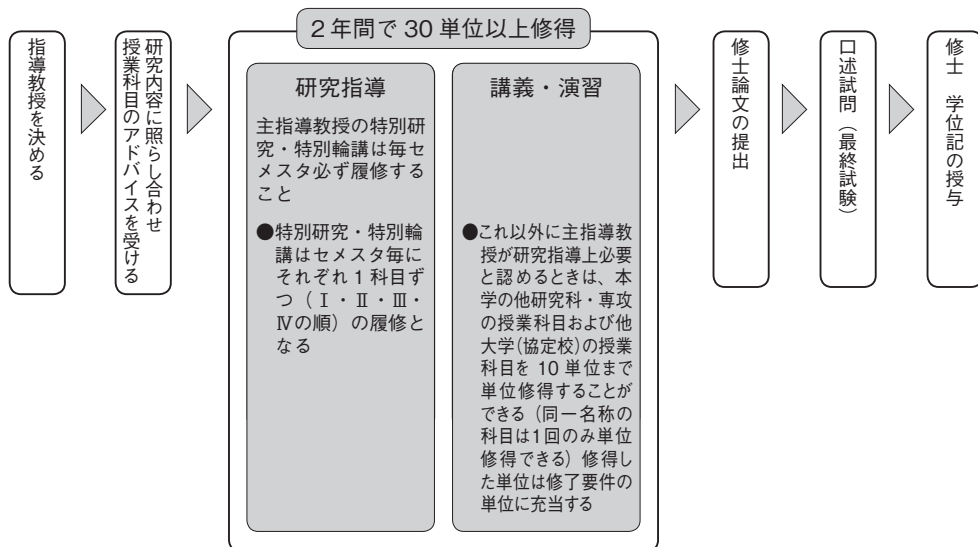


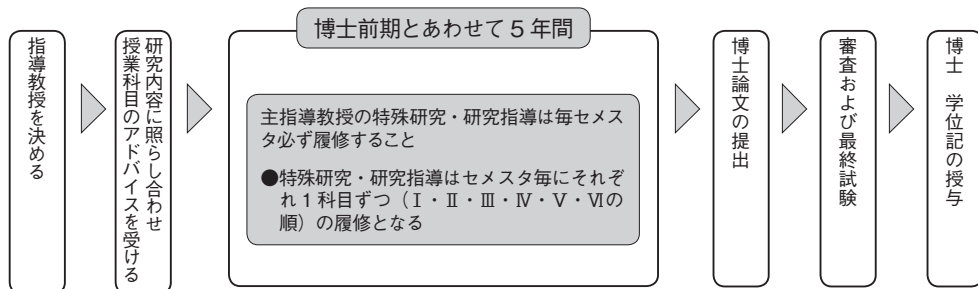
[工 学 研 究 科]

機能システム専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



機能システム

機能システム専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
◇機能システム分野					
生産システム工学特論	講義	2	教授	神田雄一	
マイクロメカトロニクス・制御特論	講義	2	准教授	山川聡子	
計算工学特論	講義	2	特任教授	矢川元基	
人間工学特論	講義	2	教授	寺田信幸 小河繁彦	
知的機能システム特論	講義	2	教授	大久保俊文 山内康司	
最適化学特論	講義	2			本年度休講(隔年開講)
脳科学特論	講義	2	教授	田中尚樹 堀内城司	
◇機械システム分野					
センシング工学特論	講義	2	教授	井内徹介	
流体力学特論	講義	2	教授	原秀介	
数値流体工学特論	講義	2	教授	田村善昭	
数値構造工学特論	講義	2	教授	江澤良孝	
連続体工学特論	講義	2	教授	西郷宗玄	
エネルギー変換特論	講義	2	准教授	吉野隆	
◇バイオ・マイクロマシン分野					
バイオメカニクス特論	講義	2	教授	小山信也	
ナノ熱統計力学特論	講義	2	教授	望月修	
マイクロマシン工学特論	講義	2	准教授	物部秀二	
ロボット工学特論	講義	2	教授	松元明弘	
◇機能材料分野					
ソフトマター特論	講義	2	教授	石川圭介	
機能材料特論	講義	2	教授	和田昇	
半導体工学特論	講義	2	教授	吉本智巳	
オプトエレクトロニクス特論	講義	2			本年度休講(隔年開講)
◇ナノエレクトロニクス分野					
電子デバイス特論	講義	2	教授	小室修二	
プラズマエレクトロニクス特論	講義	2	准教授	本橋健次	
ナノエレクトロニクス特論	講義	2	教授	椿光太郎	
電子物性工学特論	講義	2	准教授	柴田絢也	
◇共通科目					
機能システム特別講義	講義	2	教授	望月修	
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講義	2	教授	吉田善一	
◇研究指導					
機能システム特別研究Ⅰ	演習(必修)	2	}	(各指導教員)	
機能システム特別研究Ⅱ	演習(必修)	2		井内、江澤、大久保、小河、小山	
機能システム特別研究Ⅲ	演習	2		小室、西郷、田中、田村、椿	
機能システム特別研究Ⅳ	演習	2		寺田、堀内、前川(兼担)、望月、矢川	
機能システム特別輪講Ⅰ	演習(必修)	2		吉田善、石川、神田、花尻(兼担)、松元	
機能システム特別輪講Ⅱ	演習(必修)	2		吉本智、和田昇、山内、物部	
機能システム特別輪講Ⅲ	演習	2		柴田、本橋、森本(兼担)、山川、吉野	
機能システム特別輪講Ⅳ	演習	2			

機能システム

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
機能システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
機能システム特殊研究Ⅱ	講義・実験			井内、江澤、大久保、小河、小山
機能システム特殊研究Ⅲ	講義・実験			小室、西郷、田中、田村、椿、寺田
機能システム特殊研究Ⅳ	講義・実験			堀内、望月、矢川、吉田善、石川
機能システム特殊研究Ⅴ	講義・実験			神田、松元、吉本智、和田昇、山内
機能システム特殊研究Ⅵ	講義・実験			物部
機能システム研究指導Ⅰ			}	
機能システム研究指導Ⅱ				(各指導教員)
機能システム研究指導Ⅲ				井内、江澤、大久保、小河、小山
機能システム研究指導Ⅳ				小室、西郷、田中、田村、椿、寺田
機能システム研究指導Ⅴ				堀内、望月、矢川、吉田善
機能システム研究指導Ⅵ				

履修方法

博士前期課程

1. 博士前期課程を修了するためには、◇機能システム分野、◇機械システム分野、◇バイオ・マイクロマシン分野、◇機能材料分野、◇ナノエレクトロニクス分野の5分野の中から4分野を選び、その分野の中から必ず1科目以上修得しなければならない。
2. 原則として機能システム特別研究Ⅰ～Ⅳ、機能システム特別輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
3. 本表に掲げたものの他、主指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。
修得した単位は修了要件の単位に充当する。
4. ※脳科学特論については、2010年度以降入学生の履修科目である。それ以外の学生が履修を希望する場合は、教学課に相談すること。

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、機能システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として機能システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ、機能システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

客員教授

大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしています。

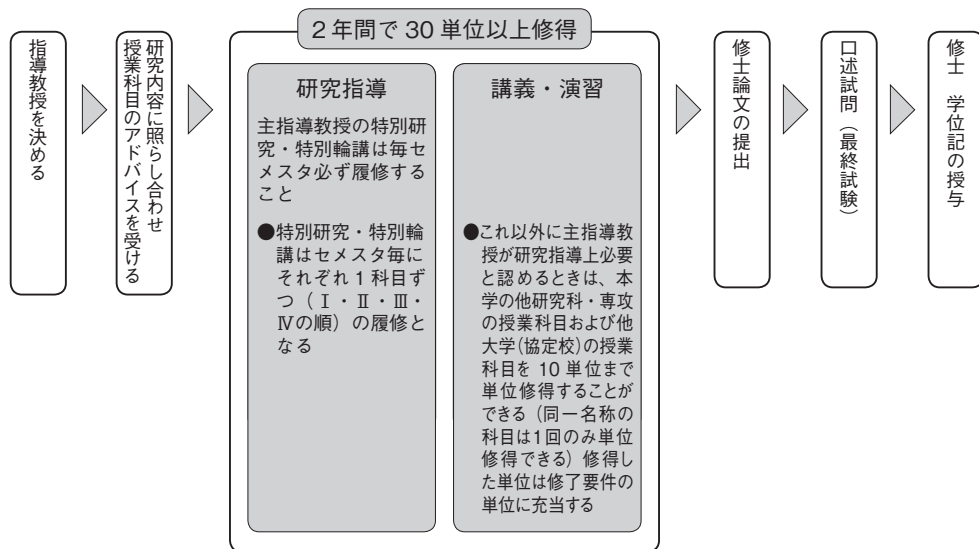
指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出てください。

青柳 克信（立命館大学 教授）

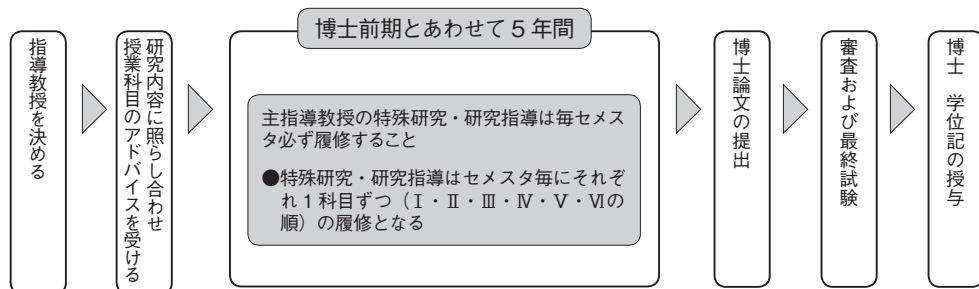
石橋 幸治（独立行政法人 理化学研究所）

バイオ・応用化学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



バイオ・
応用化学

バイオ・応用化学専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
◇基礎化学系					
先端有機化学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
先端無機化学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
先端物理化学特論	講義	2	教授	宮崎 芳雄	
先端分析化学特論	講義	2	教授	上田 貴洋	
先端バイオテクノロジー特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
◇グリーンケミストリー系					
大気化学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
環境化学特論	講義	2	教授	泉 克幸	
フォトケミストリー特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
エコロジー特論	講義	2	教授	川瀬 義矩 吉田 泰彦	
グリーンエンジニアリング特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
グリーン合成化学特論	講義	2	教授	福島 康正	
環境機器分析特論	講義	2	非常勤講師	小日向 武	
反応化学特論	講義	2	非常勤講師	新井 充	
◇バイオテクノロジー系					
遺伝子工学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
応用生物有機化学特論	講義	2	教授	福島 康正	
タンパク質工学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
天然高分子特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
バイオプロセスエンジニアリング特論	講義	2	教授	川瀬 義矩	
バイオ・食品機器分析特論	講義	2	客員教授	亀倉 正博	
応用微生物工業化学特論	講義	2	教授(兼任)	宇佐美 論	
食品・バイオ特論	講義	2	准教授	安藤 直子	
◇エネルギー・センサー・材料科学系					
有機材料科学特論	講義	2	教授 特任教授(兼任)	吉田 泰彦 クマー	
無機材料科学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
結晶工学特論	講義	2	教授	勝亦 徹	
固体材料化学特論	講義	2	教授	蒲生 美香	
材料機器分析特論	講義	2	教授(兼任)	石井 茂	
ナノサイエンス特論	講義	2	特任教授(兼任) 特任教授(兼任)	和田 恭雄 クマー	
高分子材料科学特論	講義	2	客員教授	萩原 時男	
電気化学・エネルギー材料特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
センサー科学特論	講義	2	非常勤講師	外山 滋	
◇共通科目					
バイオ・応用化学特別講義	講義	2			本年度休講
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講義	2	教授	吉田 善一	
◇研究指導					
バイオ・応用化学特別研究Ⅰ	演習(必修)	2	}	(各指導教員)	泉、上田、宇佐美(兼任)、勝亦、蒲生 川瀬、福島、吉田泰、田島、安藤 石井(兼任)
バイオ・応用化学特別研究Ⅱ	演習(必修)	2			
バイオ・応用化学特別研究Ⅲ	演習	2			
バイオ・応用化学特別研究Ⅳ	演習	2			
バイオ・応用化学特別輪講Ⅰ	演習(必修)	2			
バイオ・応用化学特別輪講Ⅱ	演習(必修)	2			
バイオ・応用化学特別輪講Ⅲ	演習	2			
バイオ・応用化学特別輪講Ⅳ	演習	2			

バイオ・
応用化学

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
バイオ・応用化学特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
バイオ・応用化学特殊研究Ⅱ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅲ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅳ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅴ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅵ	講義・実験			
バイオ・応用化学研究指導Ⅰ			}	(各指導教員)
バイオ・応用化学研究指導Ⅱ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅲ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅳ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅴ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅵ				

履修方法

博士前期課程

1. 原則としてバイオ・応用化学特別研究Ⅰ～Ⅳ、バイオ・応用化学特別輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
2. 本表に掲げたものの他、主指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。

修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、バイオ・応用化学研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則としてバイオ・応用化学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、バイオ・応用化学研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

客員教授

大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしています。

指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出てください。

長田裕之（独立行政法人理化学研究所）

加藤誠志（国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所所長）

亀倉正博（好塩菌研究所所長）

工藤俊章（長崎大学教授）

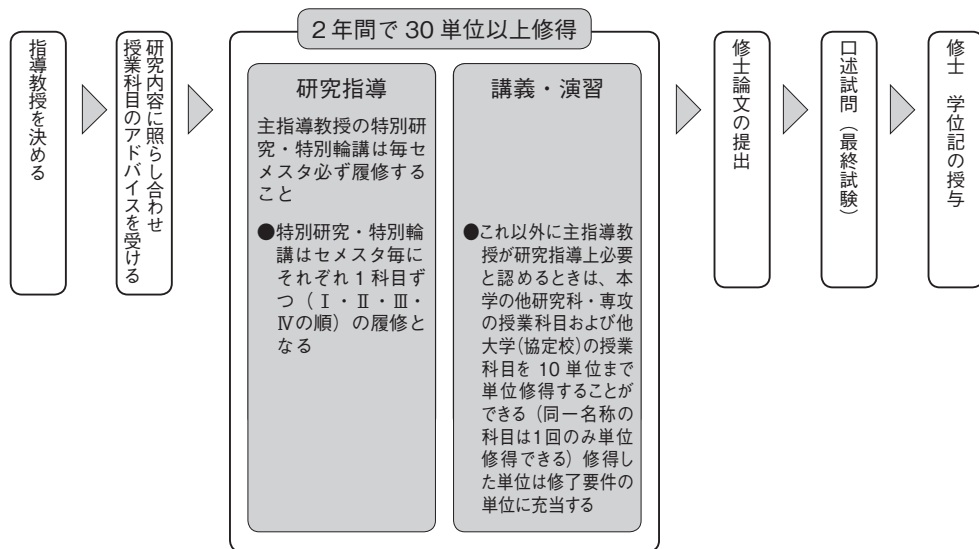
萩原時男（埼玉工業大学大学院教授）

前田端夫（独立行政法人理化学研究所）

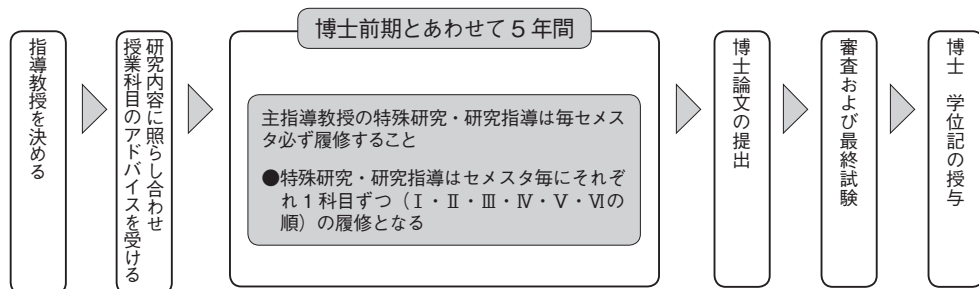
バイオ・
応用化学

環境・デザイン専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



環境・デザイン専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
◇デザイン分野					
空間デザイン★	講義	2	教授	工藤和美	
都市・建築論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
ランドスケープ・デザイン	講義	2			本年度休講（隔年開講）
●都市計画デザイン	講義	2			本年度休講（隔年開講）
環境・デザイン特別設計Ⅰ★	演習	2	教授	工藤和美	
環境・デザイン特別設計Ⅱ★	演習	2	非常勤講師	山本想太郎	
◇計画分野					
建築計画特論★	講義	2			本年度休講（隔年開講）
生活空間計画★	講義	2	准教授	篠崎正彦	
●住環境計画★	講義	2			本年度休講（隔年開講）
●ビルディングシステム★	講義	2	准教授	浦江真人	
まちづくり計画	講義	2	准教授	野澤千絵	
●都市保全システム	講義	2			本年度休講（隔年開講）
メンテナンス計画	講義	2	教授	福手勤	
環境計測工学	講義	2	教授	田中修三	
◇環境とエコシステム分野					
建築環境・設備計画★	講義	2			本年度休講（隔年開講）
建築環境工学★	講義	2	教授	高草木明	
流域圏環境システム	講義	2			本年度休講（隔年開講）
水圏環境工学	講義	2	教授	福井吉孝	
地球環境工学	講義	2	教授	石田哲朗	
●環境分析	講義	2	非常勤講師	江森弘祥	
環境経済論	講義	2	准教授	村野昭人	
◇建設構造分野					
木質構造学特論★	講義	2			本年度休講（隔年開講）
構造解析学特論★	講義	2			本年度休講（隔年開講）
構造材料学特論★	講義	2	准教授	香取慶一	
環境材料工学	講義	2	教授	須長誠	
地盤環境工学	講義	2			本年度休講（隔年開講）
都市建設材料学特論	講義	2			本年度休講（隔年開講）
構造設計学	講義	2	教授	鈴木崇伸	
◇マネジメント分野					
建設産業経営★	講義	2			本年度休講（隔年開講）
●地域生産システム	講義	2	教授	秋山哲一	
都市環境政策学	講義	2			本年度休講（隔年開講）
環境建設マネジメント	講義	2	教授	中川良隆	
基盤システム工学	講義	2			本年度休講（隔年開講）
環境解析システム	講義	2			本年度休講（隔年開講）
●循環資源マネジメント	講義	2	特任教授	藤田壮	
◇共通科目					
環境・デザイン特別講義Ⅰ	講義	2	教客員教授	長澤角真一	
環境・デザイン特別講義Ⅱ	講義	2			本年度休講（隔年開講）
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講義	2	教授	吉田善一	

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
◇研究指導					
環境・デザイン特別研究Ⅰ	演習	2		(各指導教員)	
環境・デザイン特別研究Ⅱ	演習	2		秋山、石田、鈴木、高草木、田中	
環境・デザイン特別研究Ⅲ	演習	2		長澤、福井、福手、藤田、松野	
環境・デザイン特別研究Ⅳ	演習	2		尾崎、加賀、工藤、野澤	
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅰ	演習	2		須長、中川、浦江、香取、小瀬	
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅱ	演習	2		篠崎、村野	
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅲ	演習	2			
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅳ	演習	2			
◇演習・インターンシップ					
特別設計演習Ⅰ★	演習	2	教授	高草木・松野	一級建築士実務認定インターンシップ
特別設計演習Ⅱ★	演習	2	教授	高草木・松野	一級建築士実務認定インターンシップ
インターンシップⅠ★	演習	2		(指導教員)	一級建築士実務認定インターンシップ
インターンシップⅡ★	演習	2		意匠系：工藤	一級建築士実務認定インターンシップ
インターンシップⅢ★	演習	2		構造系：松野（ⅠⅡのみ）	一級建築士実務認定インターンシップ
インターンシップⅣ★	演習	2		設備系：高草木（ⅠⅡのみ）	一級建築士実務認定インターンシップ
インターンシップⅤ★	演習	2			一級建築士実務認定インターンシップ

(補注) ★：一級建築士実務認定講義・演習・インターンシップ科目（詳細は、別表に示す「財団法人 建築技術教育普及センター」より認定された要件と科目を必ず参照すること。別表については教学課に問い合わせること。）

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
環境・デザイン特殊研究Ⅰ	講義・実験			(各指導教員)
環境・デザイン特殊研究Ⅱ	講義・実験			秋山、石田、鈴木、高草木、田中
環境・デザイン特殊研究Ⅲ	講義・実験			長澤、福井、福手、藤田、松野
環境・デザイン特殊研究Ⅳ	講義・実験			尾崎、加賀、工藤、野澤
環境・デザイン特殊研究Ⅴ	講義・実験			
環境・デザイン特殊研究Ⅵ	講義・実験			
環境・デザイン研究指導Ⅰ				(各指導教員)
環境・デザイン研究指導Ⅱ				秋山、石田、鈴木、高草木、田中
環境・デザイン研究指導Ⅲ				長澤、福井、福手、藤田、松野
環境・デザイン研究指導Ⅳ				野澤
環境・デザイン研究指導Ⅴ				
環境・デザイン研究指導Ⅵ				

環境・
デザイン

履修方法

博士前期課程

1. 原則として環境・デザイン特別研究Ⅰ～Ⅳ、環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
2. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる。（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）
修得した単位は修了要件の単位に充当する。
3. 一級建築士受験の学歴要件を満たす学生で、大学院において一級建築士実務経験認定（意匠系は1年または2年、構造系・設備系は1年）を希望する場合、別表に示す「財団法人 建築技術教育普及センター」より認定された、「インターンシップ（学内、あるいは学外）」「インターンシップ関連科目（演習）」「インターンシップ関連科目（講義）」の所定の単位数を履修する必要がある。別表については教学課に問い合わせること。
なお、「インターンシップⅠ～Ⅴ」のうち、大学院前期課程の修了単位としてカウントすることができるのは4単位までである。

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、環境・デザイン研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として環境・デザイン特殊研究Ⅰ～Ⅵ、環境・デザイン研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

客員教授

大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしています。

指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出てください。

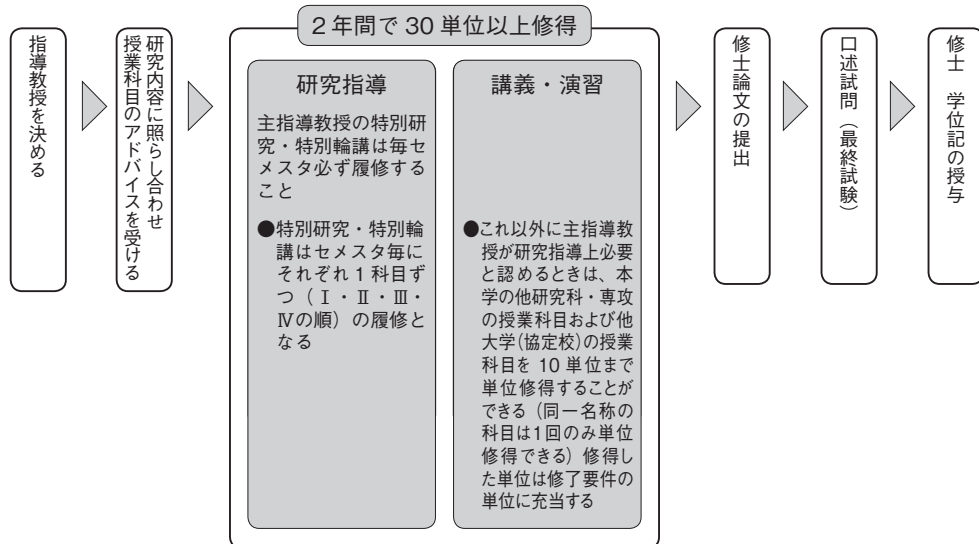
田中總太郎

〔前期研究指導担当〕

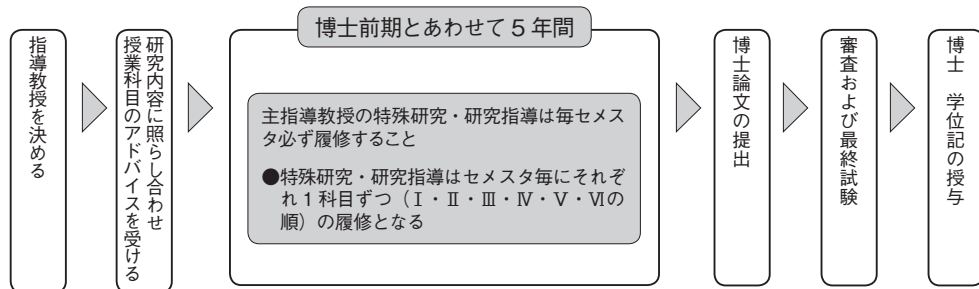
近角 真一（㈱集工舎建築都市デザイン研究所所長）

情報システム専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



情報システム専攻

博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職 名	担当教員	備 考
◇計算機分野					
VLSI コンピュータアーキテクチャ	講 義	2	客員教授	森 秀 樹	◎
オペレーティングシステム特論	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
計 算 論	講 義	2	准 教 授	三 原 孝 志	
ネットワークアーキテクチャ	講 義	2	非常勤講師	福 田 健 介	◎
分散処理論	講 義	2	教 授	塩 谷 隆 二	◎
プログラミング論	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
コンピュータグラフィックス特論	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
◇ソフトウェア工学分野					
システムシミュレーション工学	講 義	2	非常勤講師	滑 川 光 裕	◎
アルゴリズム論	講 義	2	教 授	土 田 賢 省	◎
ソフトウェア工学	講 義	2	非常勤講師	樋 山 淳 雄	
マルチメディアコンテンツ	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
マルチメディア論	講 義	2	非常勤講師	柴 田 義 孝	
データベース技法	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
◇情報処理分野					
パターン知能情報論	講 義	2	准 教 授	村 上 真	
知識情報処理論	講 義	2	教 授	安 達 由 洋	◎
認知科学	講 義	2	教 授	杉 本 富 利	
光コンピューティング	講 義	2	非常勤講師	西 野 哲 朗	
最適化技法	講 義	2	教 授	植 田 佳 典	
多 値 論 理	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
データマイニング	講 義	2	准 教 授	加 藤 千 恵 子	
◇通信・基礎分野					
色 彩 工 学	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
情報セキュリティ	講 義	2	教 授	木 本 伊 彦	◎
電気通信工学特論	講 義	2	教 授	篠 永 英 之	◎
アンテナ工学	講 義	2	教 授	石 曾 根 孝 之	
エネルギー変換・パワーエレクトロニクス特論	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
電磁波伝送工学特論	講 義	2	教 授	伊 藤 繁 夫	
電力システム解析シミュレーション	講 義	2	教 授	加 藤 正 平	
◇計算機支援設計分野					
半導体数値シミュレーション	講 義	2	教 授 特任教授(兼担)	鳥 谷 部 達 雄 和 田 恭 雄	
集積回路設計特論	講 義	2			本年度休講（隔年休講）
機能集積システム設計論	講 義	2	特任教授(兼担)	和 田 恭 雄	
◇共通科目					
情報システム特別講義	講 義	2			本年度休講
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講 義	2	教 授	吉 田 善 一	
◇研究指導					
情報システム特別研究Ⅰ	演習(必修)	2	}	(各指導教員)	
情報システム特別研究Ⅱ	演習(必修)	2			
情報システム特別研究Ⅲ	演 習	2			伊藤、上原、木本、塩谷、篠永
情報システム特別研究Ⅳ	演 習	2			土田、鳥谷部、堀口
情報システム特別輪講Ⅰ	演習(必修)	2			植田、加藤正、西澤、藤本、堺、杉本
情報システム特別輪講Ⅱ	演習(必修)	2			和田恭、加藤千、佐野、三原、村上
情報システム特別輪講Ⅲ	演 習	2			
情報システム特別輪講Ⅳ	演 習	2			

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
情報システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
情報システム特殊研究Ⅱ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅲ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅳ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅴ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅵ	講義・実験			
情報システム研究指導Ⅰ			}	(各指導教員)
情報システム研究指導Ⅱ				
情報システム研究指導Ⅲ				
情報システム研究指導Ⅳ				
情報システム研究指導Ⅴ				
情報システム研究指導Ⅵ				

履修方法

博士前期課程

- 原則として情報システム特別研究Ⅰ～Ⅳ・情報システム特別輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
- 本表備考欄の◎印については、その科目が情報システム専攻における基盤科目であることを示しており、学生には積極的な履修を推奨する科目として位置づけているものである。
- 本表に掲げたものの他、主指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。
修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

- 各自専攻分野に従い、情報システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
- 原則として情報システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ・情報システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

客員教授

大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしています。

指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出てください。

尾崎信之（(株)東芝）

森秀樹

博士前期課程 情報システム専攻 授業科目読替表

- 履修登録にあたっては、この授業科目読替表の対応科目を「同一名称科目」と読み替える。

2010（平成22）年度以降 博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員
色彩工学	講義	2	准教授	佐野勇司
エネルギー変換・パワーエレクトロニクス特論	講義	2	准教授	堺 和人

2009（平成21）年度以前 博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員
画像通信工学	講義	2	准教授	佐野勇司
電力・制御情報特論	講義	2	准教授	堺 和人

⇔

情報システム